

1. 平成 26 年度第 2 回 淀川区区政会議

8 月 4 日に淀川区役所において、平成 26 年度第 2 回淀川区区政会議を開催しました。今回は、(1)平成 25 年度運営方針の自己評価、(2)もと淀川区役所跡地、(3)福祉バスの現状と課題、(4)部会の開催について、ご議論いただきました。

まず、運営方針の自己評価については、自己評価結果の総括および防犯対策の取組について説明し、「自転車盗への抜本対策」や、「病児保育の取組のさらなる広報」が必要で



あるなど多数のご意見をいただきました。

もと淀川区役所跡地については、これまでのご意見を踏まえ図書館移転の考えを説明し、「今後のまちづくりへの起爆剤とするべき」等、貴重なご意見をいただきました。

福祉バスについては、現在の運行実績や、今後はあり方を検討する会議を開いていくこと等を説明し、「コミュニティバスの検討」等のご意見をいただきました。

今後はより専門的な意見交換を行う部会を開催するなど、いただいた意見を基に、今後の区政運営を進めていきたいと考えています。

2. 今年度も飛び出します！ みんな集まれ車座会議!!

25 年度から区内の各地域で開催してきました車座会議。6 月は、11 日に木川地域、17 日に新高地域で開催し、そして、27 日の塚本地域での開催により、淀川区内全地域での開催が達成できました。

今回は、これらの車座会議で挙がった、地域性にちなんだ話題をご紹介します。

木川地域では、「津波避難ビル」や「開かずの踏切について」などの意見のほか、防災や交通に関する意見が多く出されました。

新高地域では、「自転車事故の多発とその対策」や「公園の管理」についての意見など、地域に密着した話題が中心となりました。

塚本地域では、「塚本小学校の学校協議会」や「地域内にボール遊びが出来る公園が無い



こと」など、次代を担うこどもたちに関する意見が中心でした。

それぞれ、大阪市の所管部署、市の所管外のことについても、関連部署に対してそれぞれの課題を解決してもらうよう依頼しています。

区役所では、これからも車座会議を通じて、各地域ならではの課題解決に向け、一層取組を進めていきます。